

公表

 事業所における自己評価総括表
 (保育所等訪問支援)

○事業所名	千歳市児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 17日		～ 令和 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 17日		～ 令和 7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 1名
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 12月 17日		～ 令和 8年 1月 16日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3施設	(回答数) 3施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 6日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援にかかわる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	・計画作成前には、必ず多職種の職員が参加する個別支援計画会議を実施しています。その中で、職員間で意見を出し合いながら計画書を作成しています。	・保護者や訪問先への聞き取りは会議前に実施し、より充実した会議となるよう取り組んでいきます。
2	・保護者に対し、定期的に面談や子育てに関する助言等の支援を行っている。	・定期的に、保護者との懇談を実施しています。その中で、園や学校での取り組みや家庭での困り感について聞き取りを行い、助言等の支援を行っています。	・対面の懇談だけでなく、よりタイムリーに対応できるよう、必要に応じて電話懇談の実施も検討していきます。
3	・訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援をおこなっている。	・訪問先からの相談内容に合わせ、センター内の専門職や他機関と連携を図りながら、対応しています。	・訪問先からの相談をしっかりと拾っていくよう、担任等への聞き取りを随時行っていきます。また、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士だけでなく教員や保育士なども含めて相談に対応していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方に家族支援(ペアレント・トレーニングなど)や研修会、情報提供などを行っている。	・ペアレントプログラムを実施していますが、すべての利用者の方への周知となっていないことで認知する機会が少ないかと思えます。 ・研修会はメール配信やホームページ、SNSなどでお知らせしていますが、把握されていない方もいるようで周知が不十分であったかもしれません。	・情報発信の充実と周知に努めていきます。 ・保護者の方にわかりやすいように、発信内容や周知方法を検討していきます。
2	・保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行う。	・支援後には可能な限り、その日行った支援のフィードバックをクラス担任等と実施しておりますが、訪問先施設の都合で人員が確保できないときは、書面で記録し、お渡ししています。	・今後も引き続き、可能な限り対面でのフィードバックを実施していきます。また、書面以外にも支援中の対話や電話、電子連絡帳の活用についても検討し、積極的に実施していきます。
3	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を想定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	・当センター内の各マニュアルは作成し、訓練も実施しています。訪問先の各マニュアルの確認や避難訓練の参加は未実施です。	・できる限り、訪問先の各マニュアルや避難経路の確認、避難訓練の参加、情報共有を実施していきます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果
(保育所等訪問支援)

事業所名 千歳市児童発達支援センター

公表日 令和 8年 3月 16日

利用児童数 令和7年11月30日時点 3名

回収数 1名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教材等が整えられている。	1	0	0	0		
	2 プライバシーに配慮した面接室等が整えられている。	1	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されている。	1	0	0	0		
	4 訪問支援の頻度や時間について、相談の上で決定している。	1	0	0	0		
	5 子どもの状態に応じた支援が提供できる職員体制(職種・人数)となっている。	1	0	0	0		
適切な 支援の 提供	6 子どものことを十分に理解し、特性等に応じた専門性のある支援を行っている。	1	0	0	0		
	7 個別支援計画は、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で作成している。	1	0	0	0		
	8 個別支援計画には、訪問先施設や担任等の意向も盛り込まれている。	1	0	0	0		
	9 個別支援計画は「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」を踏まえ、その上で具体的な支援内容を設定している。	1	0	0	0		
	10 個別支援計画に沿った内容で支援を行っている。	1	0	0	0		
	11 支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われている。	1	0	0	0		
保護者 への 説明 等	12 運営規程や利用者負担額等について丁寧に説明を受けた。(センターでは契約時説明を実施しています)	1	0	0	0		
	13 「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を受けた。	1	0	0	0		
	14 保護者に対して家族支援(ペアレント・トレーニング等)や研修会、情報提供等を行っている。	1	0	0	0		
	15 必要な時に子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができている。	1	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援を行っている。	1	0	0	0		
	17 職員からは共感的に支援が行われている。	1	0	0	0		
	18 子どもや保護者からの相談や申入れに対応する体制が整備されており、子どもや保護者に周知、説明している。また、相談や申入れをした際に適切に対応している。	1	0	0	0		
	19 子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達について配慮している。	1	0	0	0		
20 訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われている。	1	0	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	21	支援を実施した際に、訪問先施設と支援の内容について話し合いが行われている。	1	0	0	0		
	22	支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされている。	1	0	0	0		
	23	活動の概要や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して定期的に発信している。(日々の活動の様子はお便りやブログで発信しています。また、自己評価結果はホームページに公表しています)	1	0	0	0		
	24	個人情報の取り扱いに十分注意している。	1	0	0	0		
非常時等の対応	25	緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしている。	1	0	0	0		
	26	子どもの安全の確保が十分に行われた上で支援が行われている。	1	0	0	0		
満足度	27	子どもが訪問支援を嫌がっている様子がある。	0	0	1	0		
	28	千歳市児童発達支援センターの支援に満足している。	1	0	0	0		

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名						公表日	令和 8年 3月 16日	
千歳市児童発達支援センター						利用児童数	令和7年11月30日までの間の利用児童数 4名 回収数 3施設	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	1	0	いつも丁寧で具体的な助言をありがとうございます。授業の中で実現可能な自立活動の内容を提示していただき大変感謝しています。	今後も児童の様子に合わせて、適切な助言を提供できるように心がけてまいります。		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	1	0				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	2	1	0	専門的な内容を知識のない者にもうまく伝えていただいています。	それぞれの職種の役割を理解し、共通理解のもとで児童への支援ができるように連携を深めてまいります。		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	2	0				
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	1	0				
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応			
<p>◎いつもありがとうございます。とても助かっています。</p> <p>◎ST、OT、PTの先生方にはいつも急な連絡にも関わらず丁寧な対応をありがとうございます。今後ともよろしく願っています。</p> <p>◎保護者の困り感を引き出すような支援や、本児をとりまく環境の中でイメージをもった相談やアドバイスについて、知識だけでなく方法を知らせたり共有してもらえると助かります。</p> <p>◎児童をみて、生活の中で専門的立場から提案できることや、家庭環境の把握、本児をとりまくトータル的な部分での支援の必要性を一緒に考えてもらえたらとおもいます。</p> <p>◎保訪問時に情報共有できる範囲でお互い気付けていないところがないか、ズレがないか話す場は必要に思いました。</p>					<p>・児童の困り感に対して、専門性をいかした適切な支援を提供できるよう職員のスキルアップに努めます。</p> <p>・保護者のねがいや思いに寄り添った支援であるように、今後も訪問先施設職員の皆様との連携を深め、共通認識のもとに必要な支援を考えていきたいと思います。</p>			

公表

事業所における自己評価結果
(保育所等訪問支援)

事業所名		千歳市児童発達支援センター					令和 8年 3月 16日	
		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	3	0	0			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	0			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	0			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	0			
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	0			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	0			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1	0			
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	0			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	0	・個別支援計画会議を行い、職員間で意見を出し合いながら作成している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	0			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	0			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	0	・行動観察の他、発達検査等の評価ツールを使用している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	0			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	0			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	0			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	0			
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	0			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	0				

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	0		
	21 地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	0		
	22 就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	0		
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0	0		
	24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0	0		
	25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	0		
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	0		
保護者等への説明等	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	0		
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0	0		
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	0		
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0	0		
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	0		
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	0		・きょうだいがヤングケアラーとなっているケースがある。支援が必要かも
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	0		
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	0	0		
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	0		
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	0			
訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	0		
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	2	0	・直接話せる時は話すが、紙面に対応している訪問先もある。 ・なかなかカンファレンスの時間が取れないことが多いので、支援中に話をする、事後に書面等で伝える、電話する等工夫して伝えるようにしている。	
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0	0		
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	0		
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	0		

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	0		・訪問先のマニュアルは見たことがない。一緒に訓練も無い。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	0		